

## 平成30年度通常総会を開催

### 資格講習を積極的に実施し技能者育成を図る

本連合会は2月23日の午後3時より、東京・千代田区のアルカディア市ヶ谷において、平成30年度／第20回・通算51回)通常総会を開催しました。

小野澤昭専務理事の司会で定刻に開会。冒頭、挨拶に立った野口陽一会長は「前年度、当連合会は会員の増強、収益改善への取組みを基本理念として技能者の育成などを中心に活動してきました。また、工事保証保険等の勧誘、社会保険加入への勧誘、標準見積書様式の検討、会員増加への働きかけなど様々な課題に対する取組みを実施してきました。特に技能検定試験については、7月に一級技能者・認定講習会を東京、大阪、福岡の3地区において開催し、46名を認定。また、一級技能者・更新講習会を東京で開催し、4名を継続認定しました。さらに11月には登録基幹技能者・認定講習を東京、大阪、愛媛、福岡の4地区において開催し、52名を認定しました。今後、ますます厳しくなる経営状況の中、関係省庁、関係団体及び会員の皆様のご指導ご協力を賜り、地道な活動を継続していきたいと考えております。本年度も皆様のご理解とご協力をお願いしたい」と挨拶しました。

総会では野口会長を議長に選出し、平成29年度事業報告の件、決算報告書承認の件、監査報告、平成30年度事業計画(案)の件、収支予算並びに経費の賦課及び徴収方法の件—の件の5案件について審議し、いずれも原案通り承認・決定しました。

この結果、新年度は昨年に引き続き①技能者育成に関する事業、②工事保証保険等の保険制度の充実、③建設技能労働者の人材確保・育成の促進や社会保険未加入問題など様々な待遇改

善、④外壁仕上に関する啓蒙普及や情報提供—などを中心に会員の増強、連合会の収益事業拡充に向けての地道な取組みを図っていくこととなりました。とりわけ、技能者育成については①一級技能者講習会(更新)を東京、大阪、福岡で7月頃実施、②登録基幹技能者講習会(更新)を東京、大阪、福岡で7月頃実施、③一級技能者講習会(認定)を東京、大阪、愛媛、福岡の希望地区で7月頃実施、④登録基幹技能者講習(認定)を③同様希望地区で11月に実施(総会後の理事会で決定)—することとなりました。

総会は5時過ぎ、盛会裡に閉会しました。総会終了後の5時30分より、東日本外壁仕上業協同組合と合同して新年懇親会が開かれました。懇親会にはNPO法人湿式仕上技術センターの小俣一夫顧問ほか、関係団体から多数の

来賓にご出席いただきました。

【役員】(敬称略／本総会では役員改選はなく、引き続き下記の各位にご就任いただきます)

会長：野口陽一(日幸化学工業㈱)／副会長：神農竹夫(ダイワテック㈱・新任)、高橋敦也(㈱ワールド工業・新任)／専務理事：小野澤昭(日本外壁仕上業協同組合連合会)／理事：西川岳人(明新工業㈱)、吉澤永純(㈱エルシー・新任)、山崎睦治(山崎工業㈱)、實松幹次郎(松美化建工業㈱)、宮澤健一(㈱ミヤザワ)、横谷英二(東大阪塗工㈱)、池田貞伸(竹林塗装㈱)、矢野正幸(㈱矢野商会・新任)、川口大介(川口吹付工業㈱)、草場芳里(クサバ工業㈱)／理事相談役：甲斐下雄司(アイワテック㈱)、岩田伸一(㈱日興工業所・新任)／監事：草野廣勝(㈱草野吹付工業所)、加藤廣(㈱加藤建材社)

## NGS・HGSが新年合同懇親会を開催

### 小俣氏が事業所内保育所設置を改めて提案

本連合会と、東日本外壁仕上業協同組合(高橋敦也理事長・㈱ワールド工業代表取締役社長)は2月23日午後5時30分より、東京・千代田区のアルカディア市ヶ谷で新年合同懇親会を開催しました。

懇親会は磯智徳氏(東日本外壁仕上業協同組合監事・㈱ネオシステム代表取締役)の司会で定刻に開会。冒頭挨拶に立った野口陽一会長は以下の通り挨拶しました。「本日も列席の皆様におかれましてはご多用の中、ご出席をいただき誠に有難うございます。また、

会員および賛助会員各位におかれましては平素よりご協力とご支援をいただき感謝に堪えません。本会の決算が12月末であるため、例年総会が2月の下旬開催となっており、合同新年会も遅い2月の開催となっております。昨年の新年会では我が国経済もアベノミクスによって景気回復は順調ではあるものの、中国経済の減速予測、英国のEU脱退問題、トランプトランプ米大統領の就任による不安等をお話しいたしましたが、年が明けてみると何れも杞憂だったことに安堵したというのが実感



懇親会で挨拶する野口 NGS 会長

乾杯の発声を行なう小俣一夫・NPO法人湿式仕上技術センター顧問

でした。しかし2月に入るとアメリカの長期金利が9ヶ月ぶりに上昇し、2.5%を超えたとのニュースが流れ、株価が乱高下するなどしましたが、現在は落ち着きを見せています。我々を取り巻く状況はどうかというと、建築界は殆どのゼネコンが高利益を上げています。順調な公共工事、特に東日本大震災・九州熊本地震災害への復興工事、東京オリンピック・パラリンピック関連工事などもありここ数年は大丈夫ではないかと考えております。あとは実感できる景気回復を待つばかりであります。一方、若手入職者の確保も喫緊課題であります。昨年3月には政府により働き方改革実行計画が策定されました。同計画では週休2日制の導入が謳われており、建築業界、特に我が業界としては技能労働者の確保・育成のため法定福利費の導入など、若い人たちの入職環境の整備が喫緊課題となっております。また、お客様に対しては安心・安全な長期性能保証を行なっていることもしっかりPRしていく必要があるかと存じます。本日ご出席の皆様のご健勝をお祈りいたすとともに、本年も皆様のご支援ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

このあと、来賓を代表して道用光春・(一社)建設産業専門団体連合会常務理事が挨拶しました。道用氏は「野口会長様の熱い思いに溢れた挨拶を伺い感動いたしました。私共も若年入職者の促進をはかるための方策などについて認識を深めること、真面目な建設業者が生き残り、成長していくことを支援することを目的に全国各地で研修会を開催しています。東日本大震災が発生した2011年3月の直後、私どもは国交省に呼ばれ社会保険への加入推進等に

ついて話を伺う機会がありました、その後この問題についてはほとんど進展がありませんでした。しかし、ここに来てようやく現場に寄り添った施策が取られつつあります。日建連をはじめとする主要建設団体も設計単価の改善に取り組み始めております。国もまた、5年ごとの建設業者の更新時、不良不適格な業者の排除を打ち出すなど、曙光が見えております。皆様とともに入職環境の改善、その他業界が抱える諸課題の改善に向け手を携えて参りたいと願っております」と述べました。

来賓(別掲参照)紹介のあと、小俣一夫・NPO法人湿式仕上技術センター顧問の発声で乾杯となりました。席上同氏は「昨年もお話しいたしましたが、私は施工会社の皆さんに事業所内で保育所・託児所の設置を提案したい。昨今、ITの職業以外は人間でないような風潮があり、誠に嘆かわしい限りです。私は、家族的な職場となることによって女性の当業界への入職や後継者で悩む経営者を救うことが出来るのではないかと考えています。これは決して夢物語ではなく、すでに成功している事業所もあり、それを導入することで新しい需要も生まれています。是非、ご検討いただきたい」と述べました。

懇親会は7時過ぎ、神農竹夫・近畿外壁仕上業協同組合理事長(ダイワテック(株)代表取締役社長)の言葉でお開きとなりました。

懇親会にご出席いただいたご来賓は以下の通りです。

#### 【ご来賓】

小俣一夫様(NPO法人湿式仕上技術センター顧問)、宮寄徹様(一般財団法人建設業振興基金経営基盤整備支援センター副長)、中緒陽一様(同前部長)、青木裕様(東京都中小企業団体中央会振興課長)、越中谷光太郎様(日本建築仕上材工業会事務次長)、鈴木浩之様(全国マスタック事業協同組合連合会会長)、会津健様(東京都塗装工業協同組合理事長)、道用光春様(一般社団法人建設産業専門団体連合会常務理事)、伊東健夫様(同前事業部長)、菅井文明様(職業訓練法人全国建設産業教育訓練協会/富士教育訓練センター専務理事)、大平延行様(同前専任講師)

#### ■ 40年の歴史をもつ全国組織です ■

日本外壁仕上業協同組合連合会(本部/東京都/会長/野口陽一:略称NGS)は、昭和42年に日本建築仕上材工業会の前身である日本防水リシン工業会の施工部門が独立して設立された建築吹付工事の専門家組織です。今日、外壁仕上協同組合連合会所属の会員会社は、吹付・塗装を業務の核としながらも、屋根・防水・内装工事など幅広い事業展開をしており、時代が求める総合リフォームのプロ集団へと変貌を遂げつつあります。国土交通省の行政指導のもと以下の全国5地区に事務所を置く協同組合の連合体です。活動状況など詳しくは本部事務局または各組合同事局にお訊ね下さい。  
 □東日本外壁仕上業協同組合(理事長:高橋 敦也)  
 □近畿外壁仕上業協同組合(理事長:神農 竹夫)  
 □愛媛県仕上工業協同組合(理事長:池田 貞伸)  
 □福岡外壁仕上業協同組合(理事長:川口 大介)

#### ■ 登録外壁仕上基幹技能者を育成 ■

登録基幹技能者制度は、建設産業の労働生産性の向上、品質・性能・安全の確保のために建設27業種35団体が整備された制度です。基幹技能者は、専門工事種ごとの高度な専門知識・技能を有するだけでなく、建設一般に関する幅広い知識を有する人材です。それゆえに、現場の実態に応じた確かな施工方法を技術者に提案することができ、関連業種との調整能力も発揮する人材です。

また、効率的な工事推進のための優れた現場管理能力・原価管理能力を有し、建設産業の労働生産性を高めることに資することのできる人材です。登録外壁仕上基幹技能者は、塗装・吹付分野での熟練技能者、上級職長に位置付けられます。建設現場で働く技能者をリーダーシップをもって束ね、指示・指導しながら、優れた塗装・吹付工事を達成できるよう努める人材です。登録外壁仕上基幹技能者になるためには、塗装・吹付分野での10年以上の実務経験と3年以上の職長経験が必須となります。そのうえで、外壁仕上一般技能者合格者または国土交通大臣優秀施工顕彰者(建設マスター)であるという条件が必要となります。

当該資格は、吹付塗装の分野における最上位資格であります。登録基幹技能者を目指すことは、技能者が段階的にスキルアップしていくための大きな目標となります。国土交通省は、登録基幹技能者に対する経営事項審査(経営)の加算について、Z(技術力)の評価項目の中で、一人当たり一律3点を加算することを決定しています。国土交通大臣に登録をした機関が実施する登録基幹技能者講習を修了し試験に合格した者は、新たに経営事項審査で加算されることとなります。さらに、大手ゼネコンの協力を得ることを通じて、基幹技能者の賃金を底上げしていけるような制度も模索されており、基幹技能者への期待は拡大しつつあります。

日本外壁仕上業協同組合連合会は、国土交通省令第3号建設業法施行規則の一部を改正する省令(平成21年4月28日付)に基づき、基幹技能者認定講習会を運営実施する認定団体として登録されました。講習は、建設業法施行規則第18条の3の6の規定に基づき「登録建設塗装基幹技能者」の認定を行う講習会であり、当該資格を取得するためには、この講習を受け、試験に合格する必要があります。吹付・塗装分野に携わっておられる方は、積極的に登録外壁仕上基幹技能者試験の受験をお勧め致します。登録基幹技能者の具体的役割は、建設工事現場の要となる、上級職長等として、以下の役割を通じて効率的で生産性の高い工事を実施する者を指します。

1. 現場の状況に応じた施工方法、工程等の提案、調整等、
2. 現場作業を効率的に行うための技能者の適切な役割分担等作業手順の決定、
3. 他の技能者の施工に係わる指示、指導、
4. 前工程・後工程に配慮した他の職長等との連絡調整。登録基幹技能者に必要な能力は、1. 吹付塗装の技術に熟達していること、2. 吹付塗装の技術に関連する知識、技術の進展等に対応していく力、3. 現場をまとめ、体系立った効率的な作業を実施するための管理能力、4. 塗装・吹付に携わる力。

#### ■ 受験資格・手続き・経営審査 ■

平成14年~20年に外壁仕上基幹技能者に合格された旧基幹技能者の方は、制度が登録外壁仕上基幹技能者になるにあたり、特例講習を受講する必要があります。特例講習の実施は、21年10月から24年3月まで完了となりました。